

中小企業景況状況

射水商工会議所管内（新湊地区）における中小企業の景気動向を定期的に把握し、情報の提供並びに射水商工会議所が行う経営支援の基礎資料に資するため、四半期毎に定点観測を実施する。今年度の第1回目として、平成29年4～6月期実績および平成29年7～9月期見通しを対象期間として調査した。

《回答企業内訳及び回答率》

業種	対象企業数	回答企業数	回答率 (%)
製造業	10	10	100%
建設業	10	10	100%
小売業	10	10	100%
サービス業	10	10	100%
卸売業	10	10	100%
合計	50	50	100%

※本調査でのD.Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について、前年同期比および前期（四半期前）と比較して増加（上昇・好転）企業割合と減少（低下・悪化）企業割合の差を示すものである。

《主要景況項目》

○産業全体 → [全産業](#)

- 業況判断D.Iは、前年同期比 $\Delta 14.6$ ポイント、前期比 $\Delta 24.4$ と悪化している。来期は4.8ポイントで、好転の見通しである。
- 売上額D.Iは、前年同期比 $\Delta 18.0$ ポイント、前期比 $\Delta 28.0$ と減少している。
- 採算（経常利益）D.Iは、前年同期比 $\Delta 20.0$ ポイント、前期比 $\Delta 24.4$ ポイントで悪化している。来期は今期比4.8ポイントで好転の見通しである。
- 今期の業況の水準は、 $\Delta 24.5$ ポイントと悪く、採算D.Iにおいても $\Delta 6.1$ ポイントであり、赤字企業の割合が大きくなっている。

○産業別

- サービス業は、前期と比べ、売上額は維持であったが、利用客数が減少し、業況は悪化している。来期の業況は悪化の見通しである。 → [サービス業](#)
- 建設業は、前年同期と比べ、採算（経常利益）は悪化し、今期の業況D.Iは $\Delta 10.0$ ポイントとなっている。来期の業況は、今期と同様となる見通しである。
→ [建設業](#)
- 卸売業は、前期と比べ、売上額が減少し、業況は悪化した。来期の業況は、好転する見通しである。 → [卸売業](#)
- 製造業は、前期と比べ、売上額・売上数量共に減少し、業況D.Iは $\Delta 30.0$ ポイントとなっている。来期は更に悪化する見通しである。 → [製造業](#)
- 小売業は、前期と比べ、売上額・客数共に減少し、業況は悪化した。売上に対する商品在庫は過剰となっている。来期の業況は、今期と同様となる見通しである。
→ [小売業](#)